

## 盛岡市生活・経済対策について

平成 21 年 5 月 29 日  
盛岡市生活・経済対策本部

平成 21 年 3 月 6 日に開催された市議会全員協議会以降の盛岡市生活・経済対策に係る具体的内容の追加分は、次のとおりである。

また、追加分及び継続分を含めた全対策は、別紙のとおりである。

### 具体的内容（追加分）

#### （１）経済の活性化

##### ア 地域建設業経営強化融資制度の活用

- ・ 国において「地域建設業経営強化融資制度」が創設されたことから、市においても平成21年4月からこの制度を活用することとした。

##### （制度の概要）

中小・中堅建設業者が公共工事を受注した際、工事請負代金債権の譲渡について市からの承諾を受け、工事の出来高に応じた請負代金債権を担保に、債権譲渡先から転貸融資を受けられる制度。さらに、出来高を超える部分についても、保証事業会社により金融機関の融資を受けることができる。

##### イ プレミアム付き商品券発行事業への支援の検討

市内全域を対象に、地域経済の活性化を目的として盛岡商工会議所が企画実施を予定している10%プレミアム付き商品券発行事業に対する支援を検討している。

#### （２）生活者への支援

##### ア 生活再建資金貸付の実施

- ・ 現行の「消費者救済資金貸付制度」の枠組みを使い、貸付による生活再建が見込まれ、返済が可能な市民への資金貸付を平成 21 年 4 月から実施している。

##### イ DV 被害者等臨時生活支援給付金給付事業

定額給付金及び子育て応援特別手当の対象でありながら、DVの被害から逃れるため、住民基本台帳に居住地の住所を記載できないために定額給付金事業等による給付金又は手当を受け取ることができない者等に対し、被害者への生活支援を行うことを目的として、定額給付金及び子育て応援手当相当額を市の独自事業で給付する。

### (3) 雇用の確保

#### ア 雇用の維持について

- ・平成21年5月11日に、盛岡公共職業安定所、県、盛岡地方振興局等で構成する「企業の工場閉鎖等報道に係る関係機関情報交換会」を開催したが、今後も必要に応じ開催する予定である。
- ・平成21年5月12日に、鳥取県知事、岩手県知事及び市長等が日本たばこ産業(株)を訪問した。

#### イ 雇用の確保について

- ・失業者等を対象に、平成21年度6月補正予算で、「緊急雇用創出事業」及び「ふるさと雇用再生特別基金事業」を追加実施する予定である。

#### ウ 相談・マッチング支援について

- ・盛岡公共職業安定所等との共催で「もりおか就職面接会」を平成21年7月23日に開催するほか、本年12月にも開催する予定である。

### (4) 相談窓口の設置

#### ア 雇用相談窓口

- ・市庁舎別館7階の企業立地雇用課に雇用相談窓口を平成21年4月に設け、相談内容に応じて関係機関や担当部署へ取次ぎを行っている。



## 盛岡市生活・経済対策について

### 1 対策の視点

市内の経済状況の急激な悪化に対応するため，盛岡市生活・経済対策本部を設置し，市民生活の不安解消及び市内経済の早期安定化を図るものである。

### 2 対策の内容

- (1) 経済の活性化
- (2) 生活者への支援
- (3) 雇用の確保
- (4) 相談窓口の設置

### 3 具体的内容

(平成 21 年 3 月 6 日開催の全員協議会以降の追加・修正事項には，下線を付している。)

#### (1) 経済の活性化

##### ア 予算編成

(平成 20 年度)

- ・ 国の第二次補正予算及び 21 年度当初予算に対応して，速やかに必要な事業の市予算を編成する。

##### イ 公共事業関連

(平成 20 年度)

- ・ 契約差金等による追加工事の発注に努める。 実績額 27,674 千円
  - 旧盛岡競馬場跡地内フェンス改修工事 (2,232 千円)
  - 釘の平地区コミュニティ消防センター舗装改修工事 (1,300 千円)
  - 収集センター等の施設整備 (2,060 千円)
  - クリーンセンター敷地内山林整備 (983 千円)
  - 道路補修業務委託 (5,000 千円)
  - 舟田下田線 (舟田工区) 歩道舗装・防護柵設置工事 (1,050 千円)
  - 市営住宅の修繕工事 (2,049 千円)
  - 学校施設の安全対策推進事業 (13,000 千円)
- ・ 前金払，中間前金払制度等の積極的な活用を図る。
- ・ 国の二次補正予算対応事業等〔平成 20 年度 3 月補正予算〕
  - ① 地域活性化・生活対策臨時交付金への対応 予算額 444,700 千円
    - 道路舗装補修・路面補修 (150,000 千円)
    - 橋梁点検整備 (9,900 千円)
    - 市営住宅修繕 (60,000 千円)

公園遊具移設・改修 (15,000 千円)  
高規格救急車整備 (36,000 千円)  
クリーンセンター改修 (70,000 千円)  
旧清掃工場跡地整備 (45,000 千円)  
老人福祉センター跡地整備 (15,000 千円)  
墓園整備 (4,200 千円)  
都南給食センター改修 (39,600 千円)

② 国庫補助事業の前倒し対応 予算額 560,697 千円

渋民小学校施設整備 (356,593 千円)  
城北小学校プール改築 (68,858 千円)  
緑が丘小学校校舎耐震整備 (118,806 千円)  
大宮中学校屋内運動場耐震整備 (16,440 千円)

- ・ 21 年度公共工事の市が行う債務負担行為 (ゼロ市債) の設定に努める。

【今後実施予定】 予算額 352,134 千円 [平成 20 年度 3 月補正予算]

市道三ツ割 72 号線道路築造工事 (61,929 千円)  
市道舟田下田線道路改良工事 (41,500 千円)  
太田地区敷地造成等工事 (96,358 千円)  
城南小学校屋内運動場屋根塗装工事 (6,697 千円)  
下ノ橋中学校屋内運動場屋根塗装工事 (6,000 千円)  
下水道事業污水管布設工事等 (139,650 千円)

(平成 21 年度)

- ・ 国・県補助事業及び市単独事業の早期発注に努める。

ウ 中小企業の資金繰り支援について

- ・ セーフティネット保証利用者が原材料及び原油価格高騰により「岩手県経営安定資金」を利用する場合や「その他の県・市融資制度」を利用する場合、市が信用保証料を全額補給しているがこれを継続する。また、その他の信用保証料の補給についても従来どおり実施する。

◆資金繰り支援実績 (平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

この期間に市が認定したセーフティネット保証件数は 829 件。

- 1) セーフティネット保証の認定を受け、市・県の融資制度を利用し、市から保証料全額補給を受けた中小企業者に係る融資実績

①岩手県経営安定資金 (緊急対策)

・ 件数 393 件, 融資額 7,628,470 千円, 保証料補給額 47,421 千円

②その他の県・市融資制度

・ 件数 120 件, 融資額 959,110 千円, 保証料補給額 5,976 千円

- 2) セーフティネット保証の認定を受けず、市・県の融資制度を利用し、市から保証料補給を受けた中小企業者に係る融資実績

①岩手県経営安定資金 (原油高対策)

・ 件数 1 件, 融資額 20,000 千円, 保証料補給額 88 千円



②その他の県・市融資制度

・件数 115 件，融資額 438,230 千円，保証料補給額 1,544 千円

エ 工場等新設拡充促進事業補助金の前倒し支出

- ・ 2千万円以上の固定資産投資を行った製造業等に対する固定資産税相当額の補助金交付について、これまで年度の固定資産税完納を確認後に一括して支出してきたものを、納期到来分の固定資産税を納入した場合にも、一部前倒しで支出できることとする。(事業費 37,500 千円)

オ 地域建設業経営強化融資制度の活用

- ・ 国において「地域建設業経営強化融資制度」が創設されたことから、市においても平成 21 年 4 月からこの制度を活用することとした。(平成 21 年 5 月 18 日現在実績なし)

(制度の概要)

中小・中堅建設業者が公共工事を受注した際、工事請負代金債権の譲渡について市からの承諾を受け、工事の出来高に応じた請負代金債権を担保に、債権譲渡先から転貸融資を受けられる制度。さらに、出来高を超える部分についても、保証事業会社により金融機関の融資を受けることができる。

カ 定額給付金給付事業

- ・ 対象者 平成 21 年 2 月 1 日現在で「住民基本台帳」等に登載されている者
- ・ 対象者数 294,253 人 (125,168 世帯)
- ・ 給付額 1 人につき 12,000 円 (次に掲げる者以外の者)  
1 人につき 20,000 円 (65 歳以上又は 18 歳以下の者)
- ・ 申請期間 平成 21 年 4 月 20 日から平成 21 年 10 月 20 日まで
- ・ 事業費 4,656,174 千円 [平成 20 年度 3 月補正予算額]  
(うち給付費 4,472,000 千円, 事務費 184,174 千円)

\* 事業実施の給付状況については 9 頁のとおり。

キ プレミアム付き商品券発行事業への支援の検討

市内全域を対象に、地域経済の活性化を目的として盛岡商工会議所が企画実施を予定している 10%プレミアム付き商品券発行事業に対する支援を検討している。

- ・ 事業者 盛岡商工会議所
- ・ 事業内容 10%プレミアム付き商品券の発行
- ・ 取扱範囲 市内の店舗 (取扱を希望する事業者)
- ・ 発行総額 未定
- ・ 発行時期 未定
- ・ 有効期間 未定
- ・ 支援内容 発行経費に対する一部を助成

## (2) 生活者への支援

### ア 生活困窮者に対する灯油の購入費助成事業（福祉灯油）

（対象者） <次の全ての条件を満たす「表」に掲げる世帯>

- ・ 平成20年12月1日現在で、「住民基本台帳」等に登載されている世帯
- ・ 世帯全員の「平成20年度市・県民税」が非課税の世帯
- ・ 暖房に灯油を使用している世帯

対象世帯		対象世帯数	助成件数	助成率(%)
高齢者世帯	65歳以上のみの世帯	8,918	7,472	83.8
障がい者世帯	身障手帳 1・2級	1,219	1,031	84.6
	療育手帳 A	105	99	94.3
	精神手帳 1級	125	102	81.6
	特別児童扶養手当受給	3	3	100.0
ひとり親世帯	母子世帯	1,579	1,485	94.0
	父子世帯			
生活保護世帯等	—	2,325	2,037	87.6
計		14,274	12,229	85.7

※ 対象世帯数は、平成21年3月19日現在での世帯数

（助成額） 1世帯 4,000円（平成19年度：6,000円）

（申請期間） 平成21年1月20日～平成21年3月19日

（助成総額） 48,916,000円

### イ 社会福祉施設等に対する灯油等の購入費助成事業

（対象施設） <次の全ての条件を満たす「表」に掲げる施設>

- ・ 暖房に灯油、重油、ガス又は電気を使用している施設  
（ただし、ガス又は電気については、主たる暖房で使用している場合のみ）
- ・ 平成20年12月1日現在において、市内に住所を有する、社会福祉法に規定する「第一種」及び「第二種」の「社会福祉事業を行う施設等」
- ・ 非営利の法人等が運営する施設
- ・ 県及び市の指定管理施設となっていない施設
- ・ 入所又は通所の利用者がいる施設
- ・ 暖房費を施設が全額負担している施設

区 分	対象施設	助成施設	助成率(%)
障がい者施設	・ 障害福祉サービス事業所 ・ 地域活動支援センター	39施設	31施設 79.5
児童福祉施設	・ 保育所 ・ 認可外保育施設 ・ 学童クラブ	72施設	59施設 81.9



老人福祉施設	・ 養護老人ホーム ・ 特別養護老人ホーム ・ 軽費老人ホーム ・ 老人デイサービスセンター ・ 老人短期入所施設 ・ 小規模多機能型居宅介護事業を行う施設	63施設	59施設	83.6
保護施設	・ 授産施設	1施設	1施設	100.0
合計		175施設	150施設	85.7

※対象施設数は、平成21年3月25日現在での施設数

(助成額)

区分	内容	
灯油又は重油	算式	・ H19.12.1～H20.2.28の使用量×値上り額×1/2
	値上り額	・ 灯油13円、重油28.87円 (H18年12月とH20.11月の価格の比較)
電気又はガス (主たる暖房で 使用の場合)	算式	・ (H20.12月分～H21.2月分)－(H18.12月分～H19.2月分の 料金)×1/2 ・ これにより難しい場合は、これに準じた額

(申請期間) 平成21年2月2日から3月25日まで

(助成総額) 12,851,363円

#### ウ 生活資金貸付の相談

- ・ 助け合い資金、生活福祉資金、離職者支援資金等の相談受付、紹介（市社会福祉協議会事業）

平成21年5月14日現在

助け合い資金 93件 2,459千円（うち20年度 74件 2,048千円）

社会福祉資金 29件 2,450千円（うち20年度 26件 2,195千円）

離職者支援資金 0件

#### エ 生活保護の相談

- ・ 生活に困窮する方々を早期に発見し、本人の事情や状況に応じた支援を関係機関と連携して実施する。
- ・ 4月と5月に、ホームレスの実態調査を実施し、チラシにより生活保護及び定額給付金制度等についてお知らせした。今後とも関係機関等からの情報収集及び定期的な巡回により実態を把握し、居宅生活に向けての相談や定額給付金申請のための住所登録の勧奨等に取り組む。

#### オ 多重債務者の相談

- ・ 市消費生活センターにおいて、多重債務者の相談に応じる。

カ 離職者への居住安定の確保

- ・ 解雇等により住宅の退去を余儀なくされる人に対し市営住宅5戸を一定期間提供する。(平成21年1月27日から受付を開始しており、平成21年5月18日現在問い合わせ5件)

キ 生活再建資金貸付の実施

- ・ 現行の「消費者救済資金貸付制度」の枠組みを使い、貸付による生活再建が見込まれ、返済が可能な市民への資金貸付を平成21年4月から実施した。(平成21年4月末現在、相談21件、貸付2件36万円)

ク 妊婦健診の公費負担の拡充

- ・ 子育て世代が安心して出産できる環境を作るため実施してきた妊婦健診の公費負担を拡充する(平成20年度6回→平成21年度14回)。[平成21年度予算]

ケ 子育て応援特別手当支給事業

- ・ 対象者 平成21年2月1日現在で次の条件を満たす者

同一世帯の中に平成2年4月2日から平成17年4月1日までの間の生まれの子どもが2人以上いること。かつ前記に該当する子どものうち、年齢の高い順に2番目以降で、生年月日が平成14年4月2日から平成17年4月1日までの間であること。

- ・ 対象者数 3,823人(3,666世帯)
- ・ 支給額 対象となる子ども1人につき36,000円
- ・ 申請期間 平成21年4月20日から平成21年10月20日まで
- ・ 事業費 172,540千円〔平成20年度3月補正予算額〕  
(うち支給費165,600千円、事務費6,940千円)

\* 事業実施の給付状況については9頁のとおり。

コ DV被害者等臨時生活支援給付金給付事業

定額給付金及び子育て応援特別手当の対象でありながら、DVの被害から逃れるため、住民基本台帳に居住地の住所を記載できないために定額給付金事業等による給付金又は手当を受け取ることができない者等に対し、被害者への生活支援を行うことを目的として、定額給付金及び子育て応援手当相当額を市の独自事業で給付する。

- ・ 対象予定者数 50人(20世帯)
- ・ 事業費 1,360千円〔平成21年6月補正予算提案額〕

(3) 雇用の確保

ア 雇用の維持について

【既に実施中のもの】

(市内関係団体や企業への緊急要請活動の実施)

- ・ 平成20年12月17日に、盛岡地方振興局長と市長が盛岡中央工業団地協同組合



と協同組合盛岡卸センターを訪問した。

- ・平成20年12月26日に、盛岡公共職業安定所と盛岡地方振興局、市で、盛岡工業団地協同組合を訪問した。
- ・誘致企業に対し平成20年7月から順次訪問し、雇用状況等を把握するとともに、雇用の維持確保を要請した。なお、平成21年5月18日現在での訪問企業数は22社となった。
- ・平成21年5月11日に、盛岡公共職業安定所、県、盛岡地方振興局等で構成する「企業の工場閉鎖等報道に係る関係機関情報交換会」を開催した。
- ・平成21年5月12日に、鳥取県知事、岩手県知事及び市長等が日本たばこ産業(株)を訪問した。

【今後、実施を予定しているもの】

- ・市内関係団体や企業への緊急要請活動を引き続き実施するとともに、訪問時に雇用の維持確保に活用できる国等の助成制度を周知し、従業員を解雇しないよう要請する。
- ・誘致企業訪問を継続し、雇用状況等の把握と雇用の維持確保を要請する。
- ・工場閉鎖等に伴い関係機関と雇用に関する情報交換会を開催する。

イ 雇用の確保について

【既に実施中のもの】

- ・従来から行っているIT関連企業や研究開発型企業の誘致に留まらず、雇用吸収力の高い企業誘致に努める。
- ・雇用対策推進事業として、ジョブカフェいわてや盛岡地域若者サポートステーションなどへの支援を継続するほか、平成21年度における「新規高卒者就職支援事業(スタートワーキングサポート事業)」を拡大して実施している。なお、現在、雇用者数は7名であるが、6月まで2名の追加募集を行っている。(平成20年度の雇用者数は7名)
- ・雇用対策特別枠事業として、個店魅力アップ・空き店舗活用事業や市立高校の就職支援相談員配置事業などを継続実施している。
- ・平成20年度3月補正予算及び平成21年度補正予算により、失業者等を対象に、「緊急雇用創出事業」として99名、「ふるさと雇用再生特別基金事業」として7名合計106名の雇用を目指し、事業を実施している。

【今後、実施を予定しているもの】

- ・失業者等を対象に、平成21年度6月補正予算で、「緊急雇用創出事業」及び「ふるさと雇用再生特別基金事業」を追加実施する予定である。

ウ 相談・マッチング支援について

【既に実施中のもの】

- ・岩手労働局、ハローワーク、県との情報共有や連携を通じて、雇用や労働に関する情報収集を行った。
- ・原油高騰対策相談窓口を平成19年12月17日に商工課内に設置したが、平成20年10月31日からは、セーフティネット保証や原油及び原材料価格高騰、金



融、経営の相談に応じる中小企業経営相談窓口を設置している。

- ・ もりおか就職面接会を、盛岡公共職業安定所等との共催で12月19日に開催した。
- ・ 「ジョブカフェいわて」において、合同会社説明会「お仕事広場」を随時開催している。平成20年度は8回開催（参加企業数46社、参加者数462名）し、8名の採用があった。

【今後、実施を予定しているもの】

- ・ 盛岡公共職業安定所等との共催で「もりおか就職面接会」を平成21年7月23日に開催するほか、本年12月にも開催する予定である。

エ その他

- ・ 岩手労働局、盛岡公共職業安定所、岩手県商工労働観光部、盛岡地方振興局企画総務部産業振興課、独立行政法人雇用・能力開発機構岩手センター及び盛岡市立高校等と随時情報交換を行う。
- ・ 盛岡市雇用対策本部会議を平成20年12月12日に開催するとともに、12月24日には雇用対策に係る各部主管課長会議を開催し、現状での雇用と中小企業への融資状況確認と、国が経済対策として実施を予定している第2次補正予算への対応について協議した。

(4) 相談窓口の設置

ア 相談案内窓口

- ・ 市庁舎本館1階の市民部市民活動推進課に案内窓口を設け、相談内容に応じて担当部署へ取次ぎを行う。

(相談件数) 平成21年5月18日現在

17件 (生活支援相談12件、雇用相談5件)

(開設期間) 平成21年1月5日(月)以降当分の間

イ 雇用相談窓口

- ・ 市庁舎別館7階の企業立地雇用課に雇用相談窓口を設け、相談内容に応じて関係機関や担当部署へ取次ぎを行う。

(相談件数) 平成21年5月18日現在

4件 (関係機関紹介2件、担当部署紹介1件、その他1件)

(開設期間) 平成21年4月1日(水)以降当分の間

ウ 年末相談窓口

- ・ 雇用に係る相談、中小企業に係る経営相談を中心に行い、その他の相談についても関係部署への取次ぎを行った。

(相談件数) 雇用相談5件、中小企業経営相談19件

(開設期間) 平成20年12月27日(土)から12月30日(火)まで

(開設時間) 午前9時～午後5時

(開設場所) 市庁舎本館8階 雇用労政課内



## 定額給付金及び子育て応援特別手当の支給状況について

### 1 申請状況（平成 21 年 5 月 27 日現在）

- (1) 発送件数 128,834 件
- |  |   |           |           |
|--|---|-----------|-----------|
|  | 〔 | 定額給付金     | 125,168 件 |
|  |   | 子育て応援特別手当 | 3,666 件   |
- (2) 申請件数 108,931 件
- (3) 申請割合 84.5%

### 2 問い合わせ状況（平成 21 年 5 月 27 日現在）

- (1) コールセンター  
9,426 件（1 日平均 184 件）
- (2) 事務局  
1 日平均 100 件前後
- (3) 主な問い合わせ内容
- ア 定額給付金
    - ・手続きの方法, 記入方法について
    - ・支給開始日, 入金関連について
  - イ 子育て応援特別手当
    - ・対象者について
    - ・手続きの方法, 記入方法について

### 3 支給実績（平成 21 年 5 月 28 日現在）

- (1) 給付額  
2,961,364 千円（76,524 件）
- |   |           |              |            |
|---|-----------|--------------|------------|
| 〔 | 定額給付金     | 2,852,608 千円 | (73,646 件) |
|   | 子育て応援特別手当 | 108,756 千円   | (2,878 件)  |
- (2) 給付件数の割合
- ア 申請件数に対する割合 70.2%
  - イ 発送件数に対する割合 59.4%